



「野球しようぜ！」大谷翔平（おおたにしょうへい）選手からの贈り物

1月16日、メジャーリーグで活躍する大谷選手から寄贈されたグローブ贈呈式が太田小学校で行われました。市内全ての小学校に3つずつ寄贈され、素敵な贈り物となりました。



『埼玉パナソニックワイルドナイツ』×熊谷市消防本部

コラボポスターを作製しました！

3月1日から始まる春の火災予防運動に合わせて街中に貼り出され、住宅用火災警報器の設置を呼びかけます。



能登半島地震被災地へ給水車を派遣

1月10日、令和6年能登半島地震により甚大な被害を受けた石川県に、本市が保有する給水車と、上下水道部の職員3名を派遣しました。



ご寄附を頂戴しました

12月19日、元市議会議長の栗原健晃（くりはらけんしょう）氏から、多大なご寄附を頂戴しました。いただきましたご寄附は、本市の学校教育の充実のために活用いたします。



タスキをつないでゴールを目指せ！

1月27日、めぬま駅伝が開催されました！170チーム850人の選手が出場し、タスキをつなぎました。沿道からは応援の声や拍手が聞こえ、選手の力となっていました。



健やかに育ちますように、と願いを込めて

1月31日、成田星宮小学校で「まゆ玉飾り・あずき粥」体験が行われました。地域の方に教わりながら、子どもたちが餅で「まゆ玉」を作り、歴史や込められた思いを学びました。

第12回



市長コラム

てっちゃんのひとりごと

このコーナーでは、小林哲也市長が日々感じている思いや出来事などを隔月連載でお伝えしています。

「令和６年能登半島地震への支援」


給水車


被災地支援のため派遣した職員

令和６年能登半島地震から２か月が経ちました。

この度の地震により、お亡くなりになられた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げますとともに、被災されました方々に心よりお見舞い申し上げます。

今回の被災地支援では、発災直後から本市の危機管理監に検討を指示し、準備を進めてまいりました。しかし、半島内の道路が寸断されて、思うように人員や物資の輸送ができないとの情報がありました。金沢市の友人からも「金沢市内には様々なものがあふれているが、能登には届けたくても届けられない。状況をよく見極めてから対応してほしい。」との話を伺いました。

その後、県とも調整して被災地支援の体制が整い、１月10日に輪島市へ２トンの給水車とともに本市職員３名を、15日には七尾市へ避難所の運営担当として１名を、２月４日からは農業集落排水の被害状況調査のため２名を、15日には２トンの給水車とともに４名をそれぞれ派遣しました。支援物資についても七尾市に、①アルファ米（きのこご飯）7,000食、②２リットル飲料水960本、③ブルーシート1,000枚を埼玉県トラック協会熊谷支部のご協力によりお届けしました。

また、本市にも被災地から二次避難先として避難されてきた方々がいらっしゃいますので、東日本大震災時に設立した「オール熊谷被災者支援ネットワーク」の義援金も有効に活用し、安心して暮らしていただけるよう取り組んでまいります。

引き続き、被災地の状況を見据えながら積極的な支援を継続してまいります。

読んで当てよう！ 市報クイズ

今月の問題

次の○○に当てはまる言葉をお書きください。

「日本さくら名所100選」にも選ばれた○○○○を始め、市内にはさくらの名所がたくさんあります！

アンケート

Q1 今月号市報の感想をお書きください。

Q2 取り上げてほしい内容があればお書きください。

応募方法　ハガキまたは応募フォームに、住所・氏名・年齢・電話番号・今月の問題の回答・アンケートの回答を必ず明記し、３月31日(日)までにご応募ください。(１人につき１通)

※回答がないものは無効となります。

《応募先》〒360-8601 宮町2-47-1
熊谷市広報広聴課

※当選者の発表は、プレゼント引換券の発送をもって代えさせていただきます。

１月号の正解

ハウス

◆応募総数103通中　正解95通

今月のプレゼント

「韓国カフェ＆キッチン ヨギヨポチャ」から『大人気の「ミチョ」を含むノンアルコールドリンク１杯』を20人にご提供します！


プレゼント例

お店の方からひとこと

店内の音楽はもちろんK-POP！壁には韓国語で書かれた格言も！

担当者からひとこと

ネオンの看板やチャミスルボトルの装飾が施された店内はまるで韓国の屋台のよう。とろけるチーズにお肉をフォンデュして食べる「UF○チキン」など、料理も韓国感たっぷりです！


店舗外観

[店舗情報]



韓国カフェ＆キッチン ヨギヨポチャ
住　所：熊谷市筑波２丁目115 AZ熊谷５階
電　話：048-577-3023
営業時間：11:00～23:00（ラストオーダー22:30）
定休日：不定休

インスタグラム
@yogiyo_pocha.kumagaya

市報クイズでは、プレゼントを提供していただける商店・企業などを募集しています。
詳しくは、広報広聴課TEL内線212までお問い合わせください。

情熱世代
夢追い人
Dream Followers

感謝を忘れずチャレンジ！
杉本（すぎもと）　光希（みつき）さん
ジュビロ磐田（サッカーJ1）所属 ゴールキーパー
（立正大学出身）



幼い頃から抱いていた夢

小学校入学と同時に地元新潟のクラブチームで始めたサッカー。スカウトを受けて、高校からジュビロ磐田U－18で活動していました。チームメイトのレベルはとても高く、夢中でサッカーに取り組み、それまで漠然としていた「プロになりたい」という夢を具体的にイメージできるようになったのはこの時期でした。

しかし残念ながら、トップチームへの昇格は叶いませんでした。

諦めなかったプロへの道

昇格できないと分かった時は、ものすごく悔しかったのを今でも覚えています。ですが、当時の実力ではそのままプロに進んでも通用しなかった、この先でまたプロになる夢を掴めるよう実力をつけなければ、と気持ちを切り替えました。

高校卒業後、より結果を出すことを求めて立正大学に進学しました。入学当初から「将来、プロとしてジュビロ磐田に戻ること」を目標として掲げ、生活の全てをサッカーに捧げました。熊谷での寮生活を振り返ると、サッカーと勉強のことばかり思い出します（笑）

さらなる成長を実感

大学では、世代別日本代表に選出されました。そこでは、長年、日本代表の正ゴールキーパーを務めた川口能活（かわぐちよしかつ）さん（現ジュビロ磐田GKコーチ）から指導を受けました。川口さんの指導は全てが印象的で、身体強化や技術的なことなど、いろいろな面で自分を成長させることができたと感じています。

夢への第一歩

大学や世代別日本代表での活動で実力・結果を積み重ねた結果、大学3年のときにうれしい一報が届きました。ジュビロ磐田からの入団オファーです！今までの自分の努力が報われた、間違っていなかったという思いと、これまでサッカーを続けさせてくれた家族や期待してくれていた方々に応えることができたうれしさがこみ上げました。


大学時代の杉本選手　©RISSHO Univ.

私にとってジュビロ磐田は、プロへのきっかけを与えてくれた特別なチームです。その一員として戦えることは喜びでしかありません。

今の夢は「プロになる」から「プロとして活躍する」に変わりました。チームには川島永嗣（かわしまえいじ）選手（日本代表として4大会連続でワールドカップに参加）を始め、経験と実力のあるゴールキーパーが多く在籍しています。そんな中でも積極的にチャレンジし、まずは試合に出場することを目指して、さらに実力をつけていきたいと思います。そして、ゆくゆくは日本を代表する選手に、子どもたちの憧れの選手になれるよう頑張ります！

埼玉でも試合があるので、ぜひ応援に来てください！


練習場へ足を踏み入れる杉本選手
©JUBILO IWATA

●発行日　令和6年3月1日　●発行　熊谷市
●編集　広報広聴課　〒360-8601　熊谷市宮町二丁目47番地1
TEL 048-524-1156（直通）　FAX 048-520-2870
「市報くまがや」は、毎月1日（原則）に発行し、自治会を通してお届けします。また、市役所・行政センター・さくらめいと出張所・公民館・駅連絡所などでもお配りしています。インターネットでも「市報くまがや」をご覧になれます。（URL）https://www.city.kumagaya.lg.jp/

CHECK
くまがや市 公式SNS
X(Twitter) @kumagayacity
Instagram @kumagaya_city
クマぶら LINE kumagaya_city
YouTube 熊谷市公式チャンネル
知りたい情報きっと見つかる
QR SAMPLE SCAN QR CODE

人口と世帯
●令和6年2月1日現在（対前月比）
■人口　191,895人（-179）　男　96,083人（-74）　女　95,812人（-105）　■世帯　89,964（-15）

「市報くまがや」3月号は、73,900部作成し、広告料収入を差し引いた印刷・製本に掛かる市の負担は、1部当たり24円です。